

第20回卒業式

3月5日(日)、本校サングリーンホールにて、「第20回卒業式」が厳かに執り行われました。来賓、保護者をはじめ教職員、在校生に祝福され、万感の思いを胸に卒業生は学び舎を巣立ちました。

卒業生は今年度79名、延べ1,736名となりました。



学校長式辞



在校生送辞



最後のホームルーム



クラスの仲間と記念写真



卒業証書授与



感謝のメッセージ

美しい自然、生命、文化の宿る情緒豊かな奄美大島、この恵まれた環境の中にある私たちの学舎、奄美看護福祉専門学校の敷地に隣接する小湊フワガネク遺跡が国重要文化財の指定され、創立二十二周年を迎えた今日このよき日に、来賓の皆様に見守られ、このような厳粛かつ盛大な卒業式を挙げていただき、卒業生一同感動と感謝の気持ちで一杯です。

私たちは、看護、福祉、医療事務、調理とそれぞれが保健、医療、福祉、調理のスペシャリストを目指し、全国各地から幅広い年代の仲間とともに入学し自ら夢を叶えるために本日まで学業に励んで参りました。卒業というこの日を迎え、入学してから誠心誠意、勉学に励んだ日々を思い起こすと、知識や技術が身についたことを実感した時の喜びや、苦悩や葛藤を重ねた日々を懐かしく思います。

医療秘書学科では、医療事務、調剤事務、介護保険事務など様々な事務処理能力を身につけ、患者様とスタッフの架け橋となり接遇能力にも優れたエキスパートを目指して参りました。

調理師養成学科では、調理師としての専門知識や技術を学び、和食、洋食、中華料理のほか、奄美の郷土料理や菓膳料理に加え、菓子作りの技術を習得しました。

こども・かいご福祉学科では、乳幼児から高齢者まであらゆるライフサイクルに対応できる福祉のスペシャリストを目指し、日々、勉学に励んで参りました。保育士、幼稚園教諭資格を取得するために欠くことのできないピアノ技術に悪戦苦闘しました。また、ボランティアや子育て応援団を通して、地域の子どもたちとの交流を深め、保育や福祉の心を育み、人間的にも社会的にも大きく成長することができました。

看護学科では看護に必要な専門知識・技術を学びました。最後になりましたが、私たちが卒業という晴れの舞台に立つことができたのも各学科の先生方をはじめ、実習先の皆様、私たちの成長を応援してくださった方々、ともに支えてくれた仲間、そしてどんな時も温かく見守り背中を押してくれた家族のおかげです。心から感謝申し上げます。これから、本校で培った「建学の精神」を胸にそれぞれが自分の進む道のプロとして全力を尽くして社会に貢献していきたいと思っております。

卒業を迎えて「答辞」より(一部抜粋)
こども・かいご福祉学科卒業
大島高校出身)
太月 玲さん



それでは、学校法人日章学園 奄美看護福祉専門学校のますますのご発展と皆様のご健勝を心からお祈りし、卒業生代表の答辞とさせていただきます。

四月からは神奈川県での就職が決まり、看護師として働く予定です。親孝行するにはまだまだ大好きな家族に支えてもらいたいです。

私たち卒業生は、家族や応援していただいた周りの方々に感謝の気持ちを忘れず、それぞれの夢に向かって努力していきます。たくさんの愛情で支えていただき、ありがとうございました。

この三年間、たくさんの心配をかけ、経済的にも負担をかけました。何よりも愛情をたくさんいただきました、本当にありがとうございました。(中略)

お父さんへ
入学を決めたときも何も言わずに黙って送り出して、長期休暇のたびに楽しみにしてくれて、迎えてくれましたね。入学前は喧嘩をすることもありました。いつも大きな愛情で見守ってくれてありがとうございます。

何もない私を奄美に送り出すことは、とても不安でどれほど心配をかけたか分かりません。何があってもいつも笑顔でいてね」と送り出して、その言葉をかみしめて辛い実習も乗り越えていきました。朝早くから電話をくれて、私の様子を伺い、心配しながら過ごしていたと思います。

家族へ感謝のことは
看護学科卒業
(三ツ高校出身)
喜屋武 梨穂さん





誇りと自信を持って頑張ります

看護学科卒業
(大島高校出身)
里 あかねさん



3年間の充実した学生生活を経て、無事に卒業することができました。クラスメイトや先生方、家族に支えられ、この日を迎えることができ、とても感謝しています。奄美看護福祉専門学校の卒業生として誇りと自信を持ち、頑張っていきたいです。卒業後は鹿児島県内の病院で勤務します。多くのことを学び、成長できるよう励んでいきたいと思っています。ありがとうございました。



3年間の学びを今後の糧にして

こども・かいご福祉学科卒業
(宜野座高校出身)
中山 瑠菜さん



3月5日、3年間の学びを終え、卒業の日を迎えることが出来ました。在学中の3年間は、多くの資格取得のため、仲間とともに切磋琢磨し合った日々でした。卒業後は、地元の沖縄へ戻り、取得した資格を生かし、福祉のスペシャリストとして日々成長していけるよう精進していきたいと思っています。



クラスメイトと励まし乗り越えた2年間

医療秘書学科卒業
(八洲学園大学国際高校出身)
植田 真帆さん



入学から卒業までの2年を振り返ると様々なことがありました。新入生歓迎レクリエーション、クラスマッチ、学校祭とほかの学科やクラスと親睦を深め楽しいこともありました。大変なこともありました。1年生では検定や試験が重なったり、2年生では3か月の実習があり、挫けそうに何度もなりましたが、クラスメイトと励まし合い、乗り越えることができました。

卒業にあたって大切なことは、忍耐と体力が不可欠だと思います。在校生の皆さん、しっかりと体調管理をして充実した学生生活を送ってください。



感謝の気持ちを忘れずに

調理師養成学科卒業
(奄美高校出身)
愛川 蓮さん



3月5日に卒業式を迎えました。この1年間は充実しており、月日が経つのがとても早く感じました。調理実習においては、実習に対する心構えや包丁の研ぎ方など基礎的なことから始まり、日々の実習を重ねて様々な技術を身につけることができました。

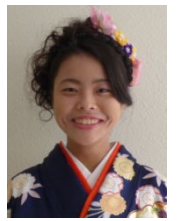
クラスは社会人の方も数名いましたが、年下の私たちとうまく合わせていただき、和気藹々とした明るいクラスでした。とても楽しい学生生活を送ることができました。家族や先生方、クラスの皆さんには大変感謝しています。ありがとうございました。

4月からは社会人として、本校で学んだ事を活かし頑張っていきたいと思っています。



平成28年度
卒業記念パーティー集合写真

奄美で過ごした三年間の思い出を胸に、新社会人としてさらに努力し、その道のスペシャリストを目指し、頑張りたいと思います。



卒業記念パーティー開催!

こどもかいご福祉学科卒業
(鹿児島城西高校出身)
坊野 詩穂さん
卒業パーティー実行委員



国際ソロプチミスト奄美クラブ賞「夢を生きる賞」を受賞!

今回、女性を支援する団体である国際ソロプチミストから賞をいただきました。一人一人が子育てをしながら、先生方と協力し、子どもたちの成長を応援したいという思いが、この賞をいただけることになりました。先生方、ご指導、ご協力、ご支援、ありがとうございました。心から感謝いたします。



看護学科一年
川口 沙也香さん



私は、女性のための教育・訓練を支援するソロプチミストクラブから「夢を生きる賞」という賞をいただきました。自分の人生を大切に生きるために、世界中の女性たちが日々頑張っていることを知り、私も今より強く、もっと頑張りたいと思います。残り一年間の学校生活を悔いなく過ごしたいです。



こども・かいご福祉学科二年
村田 麗華さん

Information ~4月の主な行事~

- 4/10(月) 始業式
- 4/13(木) 入学式
- 4/14(金)~4/18(火) 新入生オリエンテーション
- 4/28(金) 新入生歓迎レクリエーション



看護学科
専任講師
重 しほ子

退任者のあいさつ

看護学科の教員として、また残り3年間は学生指導部長として勤務させていただきました。これも教職員の皆様のご指導、ご協力を受けると共に、前向きな学生たちに勇気づけられ続けてこられたものと思います。この15年間は今後の私の人生の中においてもかけがえない宝物です。卒業生、在校生、教職員、また実習先で関わった皆様、学校関係で関わらせていただいた皆様に感謝し28年度卒業生とともに卒業させていただきます。ありがとうございました。

奄美の中において重要な存在である奄美看護福祉専門学校の益々のご発展と皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。



看護学科
専任講師
村田 めぐみ

看護学科の専任講師として12年間勤務させていただきました。臨床での経験を生かせるとはいえ、「教える」ということはとても難しく、「これでいいのか?」と葛藤する毎日でした。しかし、学生と過ごした日々は私にとって貴重な経験となり、忘れられない思い出となりました。

これまで支えてくださった先生方、そして在校生・卒業生の皆様、本当にお世話になりました。これからも、奄美看護福祉専門学校の益々のご発展と学生の皆様のご活躍をお祈りいたします。



~新任者の
あいさつ~
事務局
主事
吉 ちあき

平成29年2月6日より9月までの短期間ではございますが、福香さんの産休・育児休業の代替としてお仕事をさせていただく事になりました。吉と申します。

先生方や事務室の方々のご指導を受けながら精一杯頑張りたいと思いますので、ご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。